

1 時間の授業の展開

授業は**リズムのある展開**が必要です。ただらした授業では、子どもは退屈してしまいますし、何より集中力が低下し、学習効果が期待できません。授業（学習）にリズムが必要だと考え出したのは20数年前に算数科の研究をしていたときのことでした。子どもが生き生きと活動する授業はリズムカルに躍動しているように思われました。

授業（学習）の**リズム**をどのように醸しだすか。教師にとって大切な課題だと考えています。

- ◇ 今、考えるとき（一人で課題に立ち向かうとき）
- ◇ 今、自分の考えを発表するとき（もしくは、友達の考えを聞くとき）
- ◇ 今は、先生や友達と一緒に考えあうとき
- ◇ 今、自分の考えをまとめるとき など

上の◇のような考え方で45分間の授業を構成します。そして、それぞれの学習の場をできるだけはっきりと転換し、リズムの感じられる授業にできれば最高です。

リズムある展開をめざした国語科学習指導過程例

学習の流れ	時間の配分	子どもの活動	備考	複式指導
1. 課題をつかむ	5分	先生の話を聞く時 聞く 質問する	・教科や単元の本質に迫る課題であること ・解決に10分程度要する課題であること ※ワークシートは上の2件を満たすことを目指して作成しています。	直接指導
2. 課題に取り組む	10分	一人で考える時 考える 書く		間接指導
3. 発表する	10分 ～ 15分	自分の考えを発表する時 友達の考えを聞く時 発表 聞く 質問・意見 質問に答える		間接指導 学習係が進行
4. 深める	10分	先生や友達と一緒に考え合うとき 聞く 考える 発表する	本時の指導目標に迫る段階 ・子どもの発表をもとに発問し深める ・深める発問を用意しておく	直接指導
5. まとめる	5分	自分の考えをまとめる時 先生のまとめを聞く時		間接 又は 直接